

日本分光学会年次講演会シンポジウム テラヘルツ分光技術の最先端応用

2017年5月23日(火) 早稲田大学西早稲田キャンパス63号館

		講演者	所属	講演題目
9:30-10:10	招待講演1	島野 亮	東京大学	強度テラヘルツ波が拓く固体物性研究の新展開
10:10-10:50	招待講演2	岡島 元	青山学院大学	近赤外共鳴低振動数ラマン分光による非局在電子を伴う大振幅振動の分析
10:50-11:10	休憩			
11:10-11:50	招待講演3	坂本 知昭	国立医薬品食品衛生研究所	医薬品の革新的製造技術の進展及び最新の品質保証における分光分析の役割と展望
11:50-12:30	招待講演4	永井 正也	大阪大学	高強度ピコ秒テラヘルツパルスにおける非共鳴電子駆動と共鳴分子駆動
12:30-1:30	ランチ			
1:30-14:50	ポスター・展示			
14:50-15:10	一般講演			
15:10-15:50	招待講演5	白神慧一郎	京都大学	広帯域テラヘルツ分光を用いた細胞内水の評価
15:50-16:10	一般講演			
16:10-16:50	招待講演6	山本 茂樹	大阪大学	量子力学計算による結晶性ポリエステル低周波振動の帰属と高次構造相関